

縮小社会研究会懇談会&新年会の報告

時：2015年2月14日 15時-19時

所：事務所

参加者数：30名

はじめに、農地での太陽光発電事業の具体例が紹介され、農業の収益性や労働について討議された。つぎに、縮小社会像と人間を考えるとときの言語の重要性について意見発表がなされた。そして、高校での考えさせる教育の一例が紹介された。そのあと、自由討論を行った。そこで、以下が提案された。

1. 生物多様性についての分科会の設置
2. 講演者として、玉川徹（朝日放送）、石橋克彦（地震の話、神戸大学）、栗屋剛（生命倫理、岡山大学）、田沢仁（東大、植物学、反原発、九条の会）、が推薦された。

懇親会もいつものように、活発に議論された。